

S-Stage ポアアップキット (178cc/SCUT) 取扱説明書

製品番号 01-05-5404
01-05-0120 (カムシャフト無し)

適応車種	KLX110 (LX110A-000001 ~)
	(LX110A-A08133 ~)
	KSR110 (KL110A-000001 ~)
	(KL110A-A02833 ~)



Here is english manual.

Can be view the pdf data of instruction English manual by scanning the TWO-DIMENSIONAL CODE.

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

使用燃料についてのご注意

当製品は、ノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用した場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前に燃料タンクに残っていたガソリンにもご注意下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スパークプラグについてのご注意

スパークプラグは必ず CR8HSA (NGK) 又は、U24FSR-U (DENSO) に交換して下さい。その後、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

音鳴りについてのご注意

当製品を取り付けると、シリンダーの冷却フィンの共振による音鳴りが発生します。キット内のダンパーをキットのシリンダーに組み付けて対処して下さい。

排気量についてのご注意

当製品を取り付けると排気量が125ccを超え178ccとなりますので原付2種の登録は出来ませんのでご注意下さい。
(レース専用部品に付き、一般公道走行は出来ません。)

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。
(説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。)
- ◎カムシャフト無し 01-05-0120 は、弊社スポーツカムシャフト 01-08-045 の同時装着が必要です。
- ◎当製品の取り付けには上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
- ◎取り付けの際には適切な工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は技術的信用のある専門店へご依頼される事をお薦め致します。
- ◎この取扱説明書に記載している作業は、KSR110 の車両を主体としております。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- 作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋を着用し手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
(部品の脱落の原因となります。)
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

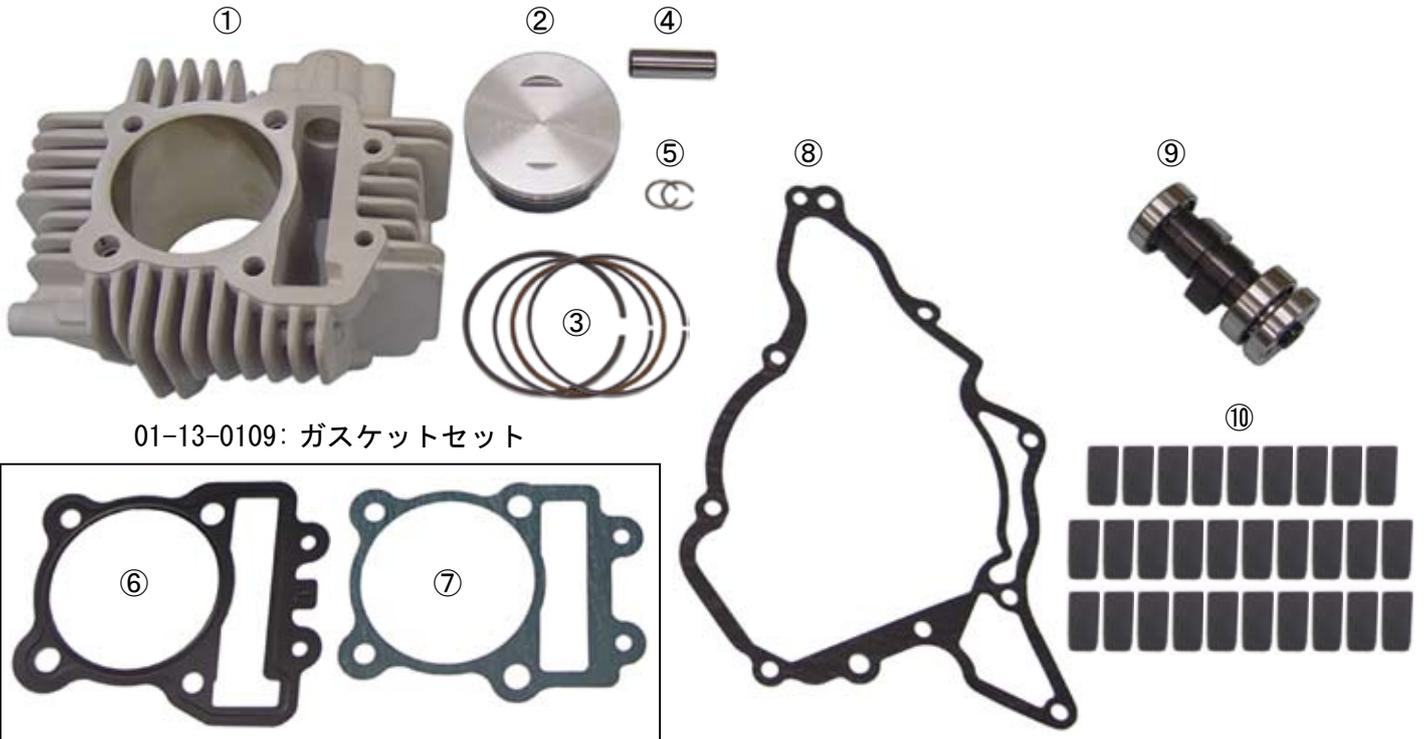
警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを始動させる点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適切な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご利用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>



01-13-0109: ガスケットセット

番号	部品名	個数	リペア品番
1	シリンダー 67mm	1	
2	ピストン 67mm	1	
3	ピストンリングセット (TOP, OIL)	1	01-15-0104
4	ピストンピン 13mm	1	00-00-1258
5	ピストンピンサークリップ	2	00-01-0003 (6ヶ入り)
6	シリンダーヘッドガスケット	1	
7	シリンダーガスケット	1	00-01-0392 (2ヶ入り)
8	ジェネレーターガスケット	1	00-01-0058
9	カムシャフト COMP.	1	01-08-045
10	シリンダーダンパー B	29	00-01-0342 (10ヶ入り)

※商品番号 01-05-0120 には部品番号 9 番のカムシャフトは付属していません。
 ※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
 品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
 尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。
 ※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。使用につきましては問題ございません。予めご了承下さい。

工具について



番号	名称
1	トルクレンチ
2	プラスチックハンマー
3	スクレーパー
4	タレットアジャストレンチ
5	シクネスゲージ
6	スパナレンチ 10-12mm
7	オフセットレンチ 8-9mm
8	オフセットレンチ 10-12mm
9	オフセットレンチ 14-17mm
10	プラスドライバー サイズ2
11	プラスドライバー サイズ1
12	マイナスドライバー 極細先

番号	名称
13	ラジオペンチ
14	ラチェットレンチ
15	ソケット 8mm
16	ソケット 10mm
17	ソケット 12mm
18	ヘックスソケット 5mm
19	スパークプラグソケット 16mm
20	エクステンションバー 中
	オイルパン
	ウエス
	エンジンオイル

ボルトについて

- 普通、ボルトとナットは反時計方向に回すと緩み、時計方向に回すと締まります。
- ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるまで締めましょう。
- ネジを緩めるという事は、締まっている状態から3~4回転反時計方向に回す事を言い、取り外すという事はネジが取れるまで反時計方向に回す事を言います。
- ネジを締めるという事は、ネジを緩まないように締める事を言います。ただ、ボルトは強く締め過ぎると折れ、弱過ぎると走行中に振動等で緩んで部品脱落の恐れがあり、大変危険です。ボルトが折れない・緩まないような締める力を数値として表したのが規定トルクです。また、その数値はボルトの大きさによって変わります。
- トルクレンチを用意する事が出来ない方は折れない・緩まない力でネジを締められるのであれば試して下さい。但し、弊社では責任を負いません。トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めるかと折れるのか、緩むのかは経験と勘でしか補えません。

作業の前に

- 作業を行う前に車両は水平な場所で確実に安定させて下さい。備え付けのサイドスタンドで車両を支えるよりもレーシングスタンド等の使用をお勧めします。車両を確実に安定させながら作業を行う事が出来ます。
- 作業は必ずエンジンを停止させた上に冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行ってください。
- フューエルコックはOFFにして下さい。
- 再使用するボルトやナットや各パーツは、取り外した際にホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにして下さい。
- 取り外したボルトやナットや各パーツは無くさないよう、どの場所に使用するのがわかるように保管して下さい。

走行前に

- 燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンに入れ替えて下さい。
- クラッチは強化タイプの物を取り付けて下さい。

更なる性能を発揮させるには

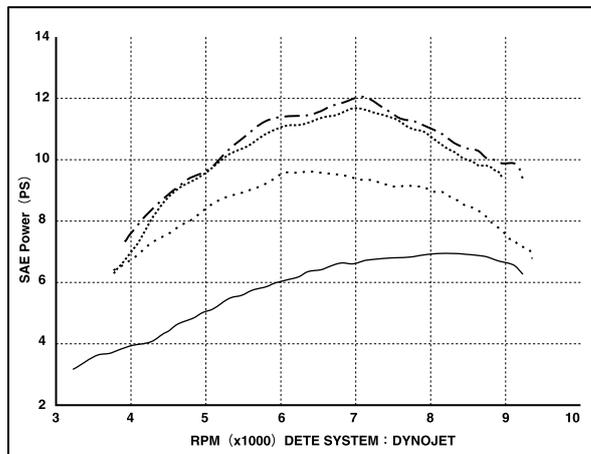
- キャブレター：Sステージの出力を有効に引き出す、専用ビックボアキャブレターキットを取り付ける事により、パワーアップが可能です。
- マフラー：弊社製各種マフラーを取り付ける事により、パワーアップが可能です。

その他

- オイルクーラー：このキットを取り付けると、出力アップに伴い、エンジン発熱量が増大します。エンジンに長時間の負荷を与える走行には油温を適切に保ち、高温時に発生する油膜切れ等を防止するオイルクーラーキットの装着をお勧めします。

使用回転数

- 出力グラフを参考にして、エンジン回転計を取り付け、最大出力回転数以下でご使用下さい。
- 特に空ぶかし時や1速ギア、2速ギアでの急加速時は使用限界回転数以上になりやすいのでご注意ください。
- 使用限界回転数以上でご使用されますと、エンジン回転が不円滑になり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。



■ダイノジェットによる後輪出力測定データです。参考データとしてご覧下さい。

※測定時の気温によっても大きく左右されます。

■テスト車両：KSR110

- ハイパーSステージスカット 178cc ポアアップキット (MIKUNI VM26) + ベータシックマフラー
- ハイパーSステージスカット 178cc ポアアップキット (MIKUNI VM26) + ノーマルマフラー
- Sステージスカット 178cc ポアアップキット + ノーマルキャブレター + ノーマルマフラー
- ノーマル 110cc

※水平で安全な場所で車両を安定させる。これからの作業は必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行う事。

●取り外し

- ◇フューエルコックをOFFにする。
- ★ホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら各パーツを取り外していく様にする。
- ★取り外したボルトやナットは無くさない様に、どの場所に使用するのがわかる様に保管する。



○外装部品の取り外し

- ◇3本のスクリューを取り外し、右シュラウドを取り外す。



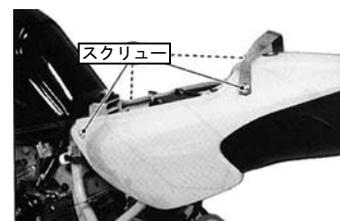
- ◇ボルトを取り外し、シュラウドスクリーンを取り外す。



- ◇シートを取り外す。



- ◇4本のスクリューを取り外し、シートカウルとシートバンドを取り外す。



○キャブレターの取り外し

- ◇配線2本の接続を外す。キャブレタートップを取り外し、スロットルバルブを抜き取る。



- ◇チョークケーブルの接続を外す。



- ◇クランプを取り外す。チューブクランプを取り外し、フューエルホースの接続を外す。エアクリーナーダクトのクランプスクリューを緩める。



- ◇マニホールドの2本のボルトを取り外し、エアクリーナーダクトからキャブレターを取り外す。



○エキゾーストマフラーの取り外し

- ◇エンジンガードを取り外す。
- ◇エキゾーストパイプホルダーナット2個を取り外す。



エキゾーストパイプホルダーナット

- ◇マフラー取り付けボルト1本を取り外し、マフラーを取り外す。



マフラー取り付けボルト

○スパークプラグの取り外し

- ◇プラグキャップを引っ張って外します。必ずキャップ部分を持って引っ張って下さい。
- ◇スパークプラグを取り外します。



○オルタネーターカバーの取り外し

- ◇オイルパン等を用意し、オイルフィルターキャップとエンジンオイルドレンプラグボルトを取り外してオイルを抜き取る。



- ◇ボルト3本を取り外し、スプロケットカバーを取り外す。



- ◇シフトペダルを取り外す。



- ◇ジェネレーターカバーからのコネクターを外す。



- ◇ボルト9本を取り外し、ゼネレーターカバーを取り外す。ノックピンは再使用するので取り外しておく。



- ◇ガスケットがクランクケースに残った場合は、スクレーパー等できれいに取り除いておく。
- ★キズをつけないように注意。

○カムスプロケットの取り外し

- ◇ボルト4本を取り外し、カムスプロケットカバーを取り外す。



- ◇フライホイールを反時計方向に回し、カムスプロケットの“T”マークをシリンダーヘッドの突起に合わせる。



- ◇フライホイールを保持し、カムスプロケットのボルト2本を取り外す。



- ◇カムシャフトチェーンテンショナーのキャップボルトを取り外し、ストッパーを時計方向に回してプッシュロッドをロックさせる。



- ◇カムスプロケットを取り外す。
- ◇2本のボルトを取り外し、カムチェーンテンショナーを取り外す。

○ロッカーアームとカムシャフトの取り外し

- ◇ボルト2本を取り外し、バルブアジャスティングカバー IN側、EX側を取り外す。



- ◇スクリーウ2本を取り外し、ロッカーアームシャフトストッパーを取り外す。



- ◇ロッカーアームを手で持ち、ロッカーアームシャフトを引き抜いてIN側、EX側のロッカーアームを取り外す。



- ◇カムシャフトを抜き取る。
- ★無理に引っ張らない事。

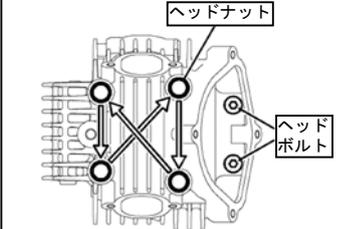


○シリンダーヘッドの取り外し

- ◇オイルパイプ取り付けスクリーウとクランクケース側、シリンダーヘッド側のバンジョーボルトを取り外し、オイルパイプを取り外す。



- ◇ヘッドボルト2本を取り外す。ヘッドナット4個を対角に数回に分けて緩め、取り外す。



ヘッドナット

ヘッドボルト

◇シリンダーヘッドを引っ張って取り外す。(かたい時はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す。)



◇ノックピン2個は、再使用するので取り外しておく。

○シリンダーの取り外し

◇ロアカムチェーンガイドを取り外す。



◇シリンダーを引っ張って取り外す。(かたい時はプラスチックハンマーで軽くたたき、取り外す。)



◇ノックピン2個は、再使用する

ので取り外しておく。
◇シリンダーが外れた後、ゴミや部品が入らない様にウエス等をクランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホールに詰め込む。

◇ガスケットがクランクケースに残った場合は、スクレーパー等できれいに取り除いておく。

★キズをつけないように注意。

○ピストンの取り外し

◇ピストンピンサークリップの片側を取り外す。

★ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじると外れやすい。



◇サークリップを取り外した方へピストンピンをドライバー等で押して外し、ピストンを外す。

●S-Stage キット取り付け

○ピストンの取り付け

◇ピストンのピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付ける。

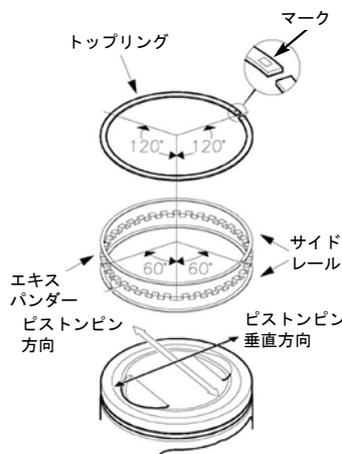
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付ける事。

★ドライバーで、ピストンにキズを付けない様に押し込むと比較的簡単に取り付け事が出来る。

★押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付ける事。



◇図を参考にしてピストンリングを取り付ける。エキスパンダー、サイドレール、トップリングの順に取り付ける。



トップリングの上面には印字があります。

◇ピストンピン、ピストンピン穴、コンロッドのピストンピン穴にエンジンオイルを塗布する。

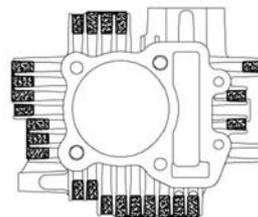
◇ピストン頂面の矢印が下(排気側)になる様にピストンを取り付ける。



◇付属のピストンピンサークリップを取り付ける。

○シリンダーの取り付け

◇シリンダー冷却フィンの中に、キット内のシリンダーダンパーBを図の場所に奥まできちり入る様に取り付ける。(シリンダー冷却フィン共振音低下の為取り付けます。)



各フィンの中に、ダンパーを取り付ける

◇詰めていたウエスを取り外す。
◇クランクケースとシリンダーの合わせ面を脱脂し、きれいにする。
◇ノックピン2個とシリンダーガスケットをクランクケースに取り付ける。



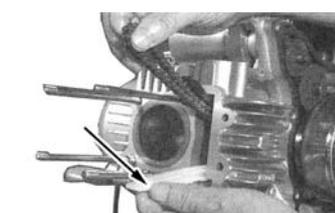
◇シリンダーの内側にエンジンオイルを塗布し、均等に薄く塗り広げる。ピストンの全周面と、ピストンリングにエンジンオイルを塗布する。



◇シリンダーをピストンリングの合い口の位置がずれないように指で少しずつピストンにはめていき、シリンダーをクランクケースにはめ込む。

★シリンダーがピストンにはまったら、カムチェーンをシリンダーに通しておく。

◇ロアカムチェーンガイドをシリンダーとクランクケースの溝にしっかりとめ込む。



※シリンダーにチェーンガイドを取り付ける際、個体差でチェーンガイドが溝の奥まで入りきらない場合があります。写真を参考にチェーンガイドの横方向にガタが出るまで加工し、溝の奥まで入っている事を確認して下さい。



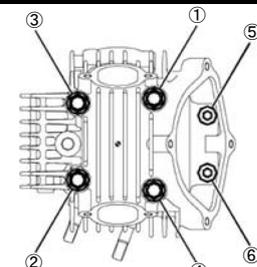
○シリンダーヘッドの取り付け

◇シリンダーとシリンダーヘッドの合わせ面をシンナー等で脱脂し、ノックピン2個とシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付ける。

◇カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付ける。

◇ヘッドナット4個、ヘッドボルト2本を仮止めしておき、下図の番号順に数回に分けて締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ヘッドボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)
ヘッドナット
トルク：22N・m (2.2kgf・m)



◇オイルパイプを取り付け、スクリューとバンジョーボルトで取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)
バンジョーボルト
トルク：15N・m (1.5kgf・m)



○カムシャフトとロッカーアームの取り付け

◇キットのカムシャフトをシリンダーヘッドに取り付ける。



◇ロッカーアームを手で持ち、ロッカーアームシャフトをシリンダーヘッドに差し込み、取り付ける。



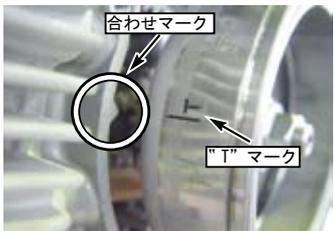
◇ロッカーアームシャフトストッパーをスクリュー2本で取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)



○カムスプロケットの取り付け

◇フライホイールの“T”マークがクランクケースの合わせマークに合っているか確認する。



◇カムスプロケットの“T”マークがシリンダーヘッドの突起に合う様にカムチェーンを取り付ける。カムスプロケットをカムシャフトにはめ込む。



◇カムシャフトスプロケットの穴にカムシャフトのネジ穴を合わせ、スクリュー2本を取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



◇カムシャフトチェーンテンショナーのプッシュロッドがロックしているか確認する。

◇シリンダーにカムシャフトチェーンテンショナーを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
カムシャフトチェーンテンショナー
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

◇カムシャフトチェーンテンショナーのストッパーを反時計方向に少し回し、プッシュロッドのロックを解除する。キャップボルトを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
キャップボルト
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)



○バルブクリアランスの調整

◇フライホイールの“T”マークをクランクケースの合わせマークに合わせ、カムスプロケットの“0”マークがシリンダーヘッドの突起に合っているか確認する。

◇アジャストスクリューとバルブシステムの間シクネスゲージを差し込み、引き抜くときに少し抵抗があるぐらいに合わせ、アジャストスクリューを固定してナットを締め付ける。

バルブクリアランス
：IN、EX 共に0.04～0.08mm

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
アジャストスクリュー
トルク：8.8N・m (0.9kgf・m)



◇クランクシャフトを反時計方向に2回転まわし、バルブ隙間が変化していないか確認する。

隙間が変化している場合は再度調整する。この作業を合うまで繰り返す。
◇カムシャフトスプロケットカバーをボルト4本で取り付ける。
バルブアジャスティングカバーIN側、EX側をそれぞれボルト2本で取り付ける。

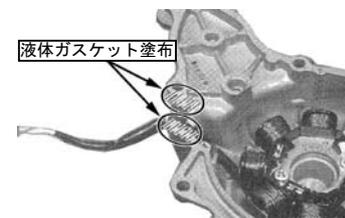
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)



○ジェネレーターカバーの取り付け

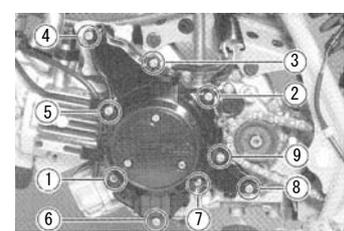
◇ジェネレーターカバーとクランクケースの合せ面をシンナー等で脱脂し、ノックピン2個とガスケットを取り付ける。

◇ジェネレーターカバーの配線のグロメット部に液体ガスケットを塗布する。



◇ジェネレーターカバーを取り付け、ボルト9本を仮止めする。それぞれのボルトを番号順に数回に分けて本締めする。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)



◇ジェネレーターカバーからのコネクターを接続する。



◇シフトペダルを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：7.9N・m (0.8kgf・m)



◇スプロケットカバーを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)

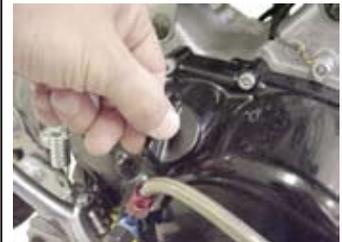


◇エンジンオイルドレンプラグボルトとガスケットを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：29N・m (3.0kgf・m)



◇エンジンオイルを規定量入れ、オイルフィルターキャップを取り付ける。エンジンオイル規定量0.9ℓ (オイルフィルターを取り外さない場合)



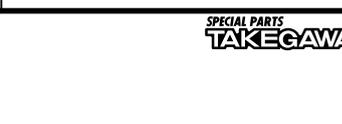
○スパークプラグの取り付け

◇スパークプラグをまず手で締め込む。
◇プラグレンチを用いて締め付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：13N・m (1.3kgf・m)



◇スパークプラグキャップを取り付ける。



○キャブレターの取り付け

◇エアクリーナーダクトにキャブレターをはめ込み、マニホールドをシリンダーヘッドにボルト2本で取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：7.9N・m (0.8kgf・m)



◇エアクリーナーダクトのクランプスクリューを締め込む。フューエルホースを接続し、チューブクランプを取り付ける。フューエルホースとスパークプラグコードにクランプを取り付ける。



◇スロットルバルブの切り欠きをキャブレターのアイドルストップスクリューに合わせて差し込み、キャブレタートップを取り付ける。配線2本を接続する。



○エキゾーストマフラーの取り付け

◇エキゾーストマフラーをエキゾーストパイプホルダーナット2個とマフラー取り付けボルト1本でまず仮止めする。



エキゾーストパイプホルダーナット



マフラー取り付けボルト

◇ナット2個とボルト2本を締め付ける。

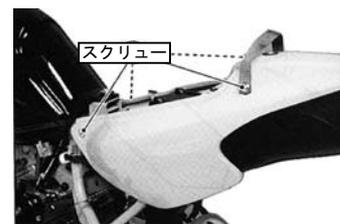
▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：14N・m (1.4kgf・m)
ボルト
トルク：14N・m (1.4kgf・m)

◇エンジンガードを取り付ける。

○外装部品の取り付け

◇4本のスクリューでシートカウルとシートバンドを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)



スクリュー

◇シートを取り付ける。



Kawasaki

◇ボルトでシュラウドスクリーンを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)



◇3本のスクリューで右シュラウドを取り付ける。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スクリュー
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)



●走行前の注意

①使用燃料について

◇燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

②各部の点検

◇各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか確認します。

◇エンジンオイルが規定量入っているか確認して下さい。

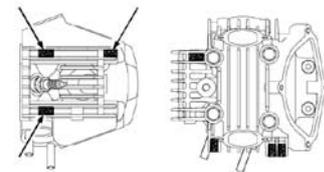
◇風通しが良く、安全な場所で十分注意してエンジンを始動し、暖気運転させます。

◇エンジンからの異音や、各ガスケット部からのオイル漏れが無いか点検して下さい。

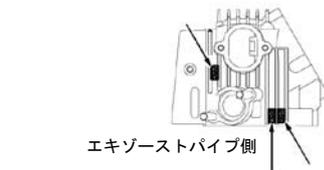
◇エンジンを切り、充分冷えた後で各部を点検し、ネジやナット等の緩みが無いか再度点検して下さい。

③音鳴について

◇当製品を取り付け使用すると、冷却フィンの音鳴りが発生します。これは、キット内のダンパーをシリンダーの他にシリンダーヘッドにも取り付け、対処します。図の場所に奥まできっちり入る様、取り付けます。



スパークプラグ側



エキゾーストパイプ側

